

◆設立趣意書

本県には、かつて、人々の経済行為と共存して育まれてきた二次的な自然とそこに生息する多様で豊かな生物相がありました。しかし、グローバル化した経済発展によって、生活様式の変化とともに人口集中や都市化が進み、同時に資源やエネルギーの大量消費が行なれるようになりました。これは、私たちの生活をより便利にしましたが、一方で、都市周辺では宅地開発が進んだほか、砂浜や岩場を持った自然海岸は減少し、近隣の里山は手入れ不足に加え竹林や松くい虫被害が拡大し、管理が行き届かない農地やため池が目立ち始めるなど、身近な自然環境も大きく変貌してきています。また、カワウやカラス、あるいはイノシシやニホンジカといった野生鳥獣と人の軋轢が増大しているだけでなく、かつては普通に見られたメダカやトノサマガエルなどがいたところで姿を消すなど生物多様性の劣化や消失が続いています。さらには、様々な外来種が侵入し、もともと日本に生息していた固有種や在来種を脅かすといった問題にも直面しています。残念なことに、これらの傾向はとどまるどころか今も悪化の一途をたどっているのが私たちのすむ香川の現状なのです。

私たちは健康で恵み豊かな自然や環境の下に、健康で文化的な生活を営む権利をもっています。それと同時に、その自然や環境を十分に守り育て将来の世代に引き継ぐ責務があると考えます。わが国では、日本の歴史の中で生まれ育まれ今日まで守り伝えられてきた貴重な国民的財産である神社仏閣あるいは絵画・陶器などを「文化財」と位置づけ、その保存や整備・活用に努めています。それは、「文化財」が日本の歴史や文化などの正しい理解や将来の文化の向上発展の基礎をすくからです。これと同じように、私たちは日本の自然を「自然環境財」であると考えます。自然環境への正しい理解と将来にわたっての自然と人との関係を考える基礎として「自然環境財」を次世代に引き継いでいく責務があるのです。

本来、このような自然と人との関係を考えるセンター機能は、地域の自然史博物館が担っていますが、残念ながら本県には自然史博物館はありません。しかし、幸いにして、生物・地学などの各分野の専門家が活動し、あるいは種々の教育・研究機関や自然保護活動団体、そして自然保護に関心のある多くの企業や県民がいます。私たち県民と企業・行政といった多様な主体がネットワークを形成し、それぞれが現在持っている知識や労力あるいは時間や財源などといった有形・無形の資源を持ち寄り連携することができれば、本県の自然の理解とその保護活動を支え推進するという自然史博物館の果たす働きをまずはつくり上げていくことができるのではないのでしょうか。

本県の身近で豊かな自然を見直し、その意味を考え、生物多様性の状況把握やその保全・保護活動を行うとともに、自然と人とのより良い関係づくりを目指して、また、将来の世代へ「自然環境財」を受け渡していく架け橋として、本県の自然に関するセンター的な役割を担うために、「みんなでつくる自然史博物館・香川」を設立するものです。

平成20年 6月 22日

NPO法人みんなでつくる 自然史博物館・香川



◆「NPO法人みんなでつくる自然史博物館・香川」とは...

現在、本県には自然史博物館はありませんが、自然関係の研究者や各分野の専門家、自然保護活動団体、環境保全に関心のある県民・企業、行政関係者らの有志により、本県の自然保護に関するセンター的な役割を担うことを目的に、機能（ソフト）としての「自然史博物館」活動を行っています。

今後、県民の誰もが自然保護活動に参加でき、様々な自然関係情報を入手できる、自然保護関係のシンクタンクとして、また、自然保護活動の中間支援としての役割を担うことを目指します。

NPO法人みんなでつくる自然史博物館・香川

(Kagawa Citizens Museum of Natural History)

館長 金子之史（香川大学名誉教授）

目的

この会は、自然保護活動及び自然環境教育活動の実践とそれに関する個人・団体間の交流、調査研究及び指導者の育成等を実施・支援するとともに、自然史情報・標本等の収集・保管・研究を行うことにより、県内の自然環境の保全及び環境教育の推進に寄与し、もって広く県民の中に自然環境保全の健全な思想と自然環境保全活動への積極的な参加の姿勢を育むことを目的とする。

事業

- ① 自然環境の保全及び自然環境教育に関する以下の事業
重要な保全地域の設置と自然保護及び自然史教育の実践、情報の収集・整備及び提供、調査研究及び普及啓発、自然環境保全政策の提言、個人・団体間の交流の促進、指導者の育成・派遣、活動及び調査研究への助成
- ② 自然史情報・標本等の収集・保管・研究に関する以下の事業
情報・標本等に関する調査、情報・標本等の収集・保管・研究、情報・標本等を活用した普及啓発
- ③ その他この会の目的を達成するために必要な事業

会員・会費等

種 別	入会金	会 費	
正会員 (個人)	—	年 額	2,000円
正会員 (学生)	—	年 額	500円 (小学生以下無料)
正会員 (家族)	—	年 額	500円
正会員 (団体)	5,000円	年 額	10,000円
賛助会員 (個人)	—	年 額 (一口)	10,000円
賛助会員 (団体)	10,000円	年 額 (一口)	50,000円

〒766-0202 仲多度郡まんのう町中通838

TEL 070-4073-0989

E-mail: minnadetsukuru@lime.plala.or.jp

知らない世界を知る機会！

講演会

専門家の話を聞く
チャンス！

県内外の様々な分野の専門家による、自然史に関する講演会を開催しています。また年に一度の総会の際は、一般の方も聴講可能な記念講演会を開催しています。



“むしむしクイズ”も開催！



お問い合わせ



070-4073-0989



minnadetsukuru@lime.plala.or.jp



〒766-0202
香川県仲多度郡まんのう町中通8 3 8 番地
琴南地域活性化センター（旧琴南中学校）3 F



琴南みらい館
(無料駐車場あり)

特定非営利活動法人みんなでつくる自然史博物館・香川

検索

CLICK!



みんなのホームページ
<https://www.kcmnh.org/event-old>

開館日 毎週土曜日
(年末年始を除く)

開館時間 10～16時



Facebook・Twitter・YouTube
でも情報発信中！

かがわの自然、再発見！

フィールド講座 ワークショップ

郷土の自然を
楽しもう！

実際に自然の中で生き物を見て触れるフィールド講座や、自然史への理解を深められる体験型ワークショップを、様々なテーマのもとで開催しています。

たとえば、その1

夏の昆虫とのふれあい観察会

里山の昆虫を探しに、夏の森林へ出かけます。樹液に集まる昆虫を探しながら、森の豊かさ、昆虫の多様さについて学びます。



たとえば、その2

川の生き物フィールド体験

上流域のきれいな水環境に生息する生き物を観察し、命のつながりや環境の大切さについて学びます。



たとえば、その3

「蜂の家」ワークショップ

蜂の果たす大切な役割をスライドショーで学んだ後、実際に自然の中に設置する「蜂の家」を完成させます。



きて、みて、かんじて！

企画展

香川の自然を
知ろう！守ろう！

香川県に生息する多様な生き物について、各回でテーマを設定し展示解説を行っています。「ことなみ未来館」のほか、県立図書館など、県内各所で開催しています。



生き物や自然に
ついて学ぼう！

かがわの“お宝”を見に行こう！

常設展

香川県には、どのような生き物が生息しているのでしょうか？
どのような場所で、どのような生活をしているのでしょうか？

常設展では、そうした疑問におこたえできるように、貴重な標本や迫力ある写真を用いて展示解説を行っています。



毎週土曜日の10～16時に
開館しています！
(※年末年始を除く)

